

寺報 龍正寺

日なた 144号

法華経は
良薬なり

日延



<令和 2年 5月>

宝龍会
護持会

令和2年大祈禱会

懺悔・祈念文

謹んで読誦し奉る大乗妙法蓮華經、唱え奉る妙玄題、鳩むるどころの功德を以つては、

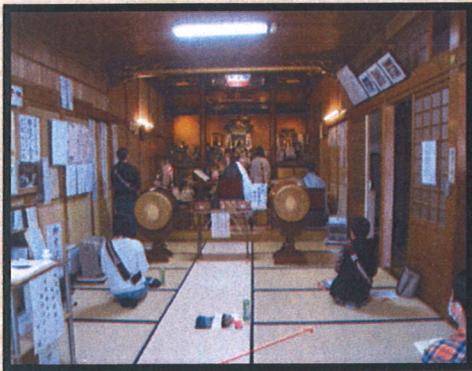
己心(身)内外に住する諸仏、諸菩薩、諸天善神、有無両縁の諸聖靈、天地自然の万物・方法の御前に於いて至心に懺悔し奉る。

およそ、人間、今生に願つてその生を享くるも、愚痴蒙昧なるが故に、諸々の愚行を重ね、今日、その傲慢と不遜は、横暴の極に達し、ついには天地の攝理を破壊し、同胞の怨恨、憎悪、瞋恚の種を十方に広く散乱せしめ、その気配を暗澹たるものと爲せしなり。

誑惑・兇暴なる新型コロナウイルス菌は日に日に増殖し、健全な生命をむしばみ、平和な環境を破壊することいよいよ盛んなり。

されば、沙門(某・等輩)、この道場に顕づき、法華經を読誦し、妙玄題を唱えて、一天四海に住する諸衆の「許し」を乞い、「詫びる」の心を心とし、「償い」の読經・唱題を行法として、懺悔の誠を尽くし、一切の「惡氣」「邪氣」「穢氣」を「善氣」「正氣」「淨氣」に転ぜしめ、己

心の内外を安心・安堵せしめ、以つて一切衆生と共に今本時の娑婆世界において即身是仏の大果を成せんと祈念するなり。



山梨県忠安寺 住職 日保上人

コロナによる感染症対策で皆様が一丸となって予防対策することで国難を封じ込めましょう。

自分たちの我欲でなく、皆がお互いに思いやりのある未来を創るために、試されているのではなかろうか。佛様は私たちの心・行動をみてます。一心にお題目をあげ、この国難を克服しましょう

住職一言

新コロナウイルス薦が拡大し、国内では非常事態宣言され、不要不急の自粛要請が求められています。

「八月の日蓮宗山梨県連合布教師会から出された教説」

『法華経は
迷いや不安を
乗り越える力
希望を与えろ
人生のくすり』

と書かれています。出典は妙法蓮華經如來壽量品第十六
からです。

「是好良藥 今留在此 汝可取服勿憂不差」

「このよき良薬を今留めてここにおく、汝取って服すべし、いえ
いとの憂うることなかり」と仙様は言われておられます。

訳しますと、このよき薬をいま留めてここにおくから、この薬を飲む
がよい、病気は治る、心配はない、からずなると信じてこ
れを飲むがよろい（これは仙様が末代の者に残された大良薬法
華経のことである、かかる病にも効あり）

「いえいと憂うることなかれ」=きっとお前たちの心の迷いがなくなる。

「汝取つて服すべし」=われわれはこの法華經を信じて実行せねばならぬ故。

玄正安國論に「汝、早く信仰の寸心を改めて」日蓮聖人が書かれています。

私たちの日々の行動等少し改めてもらう事が大切かと思います。
自分の健康を自分で守ること。

法華經のお教えを信じ、諸仏・諸菩薩・諸天善神に唱題の行法を和こない、今の国難を一日も早く終息する事を願います
皆様共に唱題行にはげみ、一日も早く安穏な家庭生活を送りたいと思います。

当山では、檀信徒の皆様と共に行事のある時、唱題行を行たし、令和2年大祈禱会報告の中にあります、小龜海
祈念文を拝読し祈念いたしております。(山梨県忠安寺御住職日保
上人作です。)

有縁の皆様方も宗派をわすれ御仏壇の前にて拝読していただき 国難を乗り越えていきましょう。

南無妙法蓮華經

合掌

一 常不輕菩薩 一

暖かい日が続き、洗濯や清掃がはかどります。コロナで外出自粛生活が続っています。自分なりのうち時間が過ぎるといいですね。

毎年購読させて頂いている日蓮宗新聞にも、コロナウイルスに関する文面が掲載されています。

メディアの情報では、ウイルスに感染しないことに重点を置いていますが、そのため、自分は若から大丈夫、などと自分勝手な行動をする人も少なくないようです。パソコン店に通う方のインタビューでは、「私はコロナに感染しても構わないと思っている」と話す方を目にしていました。本当に驚いたと同時に悲しい気持ちにさせられました。

まずは、他人にうっさないことを重要視してなければいけない。無症状でも感染している場合もあることを頭に入れて、行動を考えよといけないと思ってます。

新聞には遭う人ごとに「私はあなたを敬います。あなたは菩薩の行をして、人にられる人

「さう」と合掌し続けた。不軽菩薩のお話
が載っていました。雨ニモマケズのモデルには、た
とも言わわれています。今、人の為にできる事は、
ウイルスを他人にうつさないこと。我慢するのではなく、人の為に積極的にとる行動です。
年頃の娘達の世代は、やはり友達と遊んだり、ごはんを食べながらたくさんお話をしたり、ネットでつながり、顔を見ながら家で楽しい時間を過ごしていました。

現場で頑張って下さっている方々には、本当に頭が下がります。少しでも、負担が軽くなる様、一人一人の行動、考え方を見直していくことを大切だと思います。

明けない夜がないうに、この国難も必ず終わりが来ます。終息しても、誰かの為に行動する気持ちを持ち続けていきたいですね。

「法華経は人生のくすり」

今、私達はこの上にない経験をしています。

世界中が新型コロナウイルス菌と戦っています。目に見えない相手です。

目に見えない相手か、知らず知らず近寄って来て生命をもあひやかしています。

毎日感染者、死者数を見て、ドキドキしたり、ホッとしたりの繰り返しの日々です。

岐阜はこの数日、感染者は出ていない日々が続っていますか油断は出来ません。

コロナウイルスが原因で、生活がかなり不安になりました。自宅近くの小学校は休校が続いており、子供達の声の聞こえない校舎はとても寂しくむなしさを感じます。

人のいない町は、まるで時間が止まつたかと思うほどです。外出が出来ない事でのストレス・体力低下など、不安はつのるばかりです。

しかし、今私達は緊急事態宣言の中、外出自粛、3密(密閉・密集・密接)を避ける、感染予防で自他の健康を守る事が

一番必要な事です。

そして、心の不安は 4月の教説「法華経は 迷いや不安を
乗り越える力、希望を与える人生のくすり。」とありました。

コロナウイルスが退散後も不安は続きます。

すぐに経済、社会情勢は元には戻らないでしょう。

しかし、私達には「法華経」があります。

このような状態の中でも教説のことくに"のりこえる力、
希望をあたえる 人生のくすり。"とあります、決して樂は道のりで
はありませんか、素直に眞面目に眞剣に"法華経を、
御題目を唱える事で 明るい人生をとりもどしまい。

心に安心・安堵がある人は必ず希望も見えてきます。

このヒーヒをチャンスにしましょう。

大きな声で御題目を唱えましょう。少しでも心がスッキリ
すると思います。

南無妙法蓮華経

皆さんに考えてもらいたいこと

新型コロナウイルスと聞くと 感染したら 恐いと思ふ日々
過ぎ去っているかと思います。

私は、上司からの指示でコロナ対策の前線に行く事になりました。

言われた時は何も思ひやがたのですが、時間が経つにつれて、もし 感染したらどうしよう、死んだらどうしよう
という不安が増していきました。

前線に行くということは、感染のリスクがとても高くなり
ます。

その時に、死を覚悟する程の気持ちになりました。
念のため、何があってもいいように仕事場のロッカー、
自宅の部屋をきれいに掃除しました。

自分の気持ちとしては戦場に行くような気持ち
(死を意識)

だからこそ、この自粛中、自分勝手な行動する方が
叶えますが、考えてほしいのです。

医療者は命がけで仕事をしています。

ヨーロッパでは 医療者が夕暮れています。

対岸の火事ではないのです、すぐそこに迫っています。

大事は人の命を助ける人がいたくなても良いのですか?
己が苦しくなった時に、助ける人がいないという
ことも起ります。

自分さえ良ければいいという行動からは後に悲しい
結果をもたらすという事もあると真摯に受けとめてほし
いのです。

皆さんの行動自粛により変化します。

一日も早い新型コロナウイルスの終息を願います。

〈5月の行事予定〉

5月5日(火) 13:00~ 子供祈祷会

* 送付のご案内をご覧下さい。

5月13日(水) 10:00~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会
伊豆法難会

5月18日(月) 10:00~ { 鬼子母尊神) 祈祷会
七面大明神
大吉久尊天祈願会

〈5月住職の予定〉

寺院にて法務

〈5月の予定〉

4月末頃 各々の時間で 清掃、準備

↓

5月4日(月)



5月6日(水) 各々の時間で 清掃、準備

↓



5月12日(火)

5月14日(木) 各々の時間で 清掃、準備

↓



5月17日(日)